

フィールドワークと言葉の語彙～ワヒー語～

1. ワヒー語圏・フンザ～ゴジャール地方概観

1.1. 地理自然条件

ワヒー語圏：タジク共和国・アフガニスタン・中国・パキスタンの4カ国にまたがる地域

ゴジャール・ワヒー語：パキスタン＝ギルギット・バルティスタン州（首府：ギルギット）

地域全体にカラコルム山脈、その間をインダス川・フンザ川が流れる、南北にカラコルム・ハイウェイが貫く

東 カラコルム山脈

西 ヒンドークシュ山脈

北 パーミール高原

南 ヒマラヤ山脈

* カラコルムハイウェイ (KKH)

パキスタン(Havelian)～フンジェラーブ峠 4733m (パキ＝中国国境) ～カシュガル (中国新疆ウイグル自治区)

全長 1300km 1967年工事開始／1986年一般開通

** アターバード湖

2010年1月4日大規模な地滑りによる天然ダム発生

現在はKKH遮断 (春～秋期は渡し船による機能代替)

1.2. フンザ～ゴジャール関係史 (年表参照)

1.3. 民族・言語・宗教構成

「民族の博物館」by Jettmar

1) フンザ中央部 (フンザ, ナゲル 1)

ブルシャスキー(Burusho)／ブルシャスキー語(系統不明)

2) ゴジャール (上部フンザ)

ワヒー(ġik)／ワヒー語 (ġik wor / ġik zik , イラン系東イラン語・パミール諸語)

3) ナゲル 2 (下部フンザ)

シナ／シナ語 (インド系・ダルド諸語)

4) コワール語 (チトラール, インド系)

5) ドマキ語 (フンザ中央部)

6) その他

キルギス語 (チュルク系), サリコーリー語 (イラン系, 中国側), ウイグル語 (チュルク系), バルティール語 (チベット系)

ペルシア語 (藩主国時代の宮廷言語, 通信言語), ウルドゥー語 (パキスタンの公用語, 国語), 英語

* 1)の一部と 3)を除くほぼ全域がイスラーム教イスマール派

2. ワヒー語

2.1. 言語系統

	西イラン語	東イラン語
古代イラン語期	古代ペルシア語	アヴェスター語, スキタイ語
中期イラン語期	パルティア語 パフラヴィー語	ソグド語, バクトリア語 ホータン語
現代イラン語期	ペルシア語, バルーチ語, クルド語	パシュトー語, パミール諸語

2.2. 言語人口

- Payne (1989/1983 ロシア側統計) : 25,000-30,000 人 —10,000 (USSR), 10,000(Afghanistan), 3,000(Pakistan)
- Ethnologue (Summer Institute of Linguistics International(1995) :
31666 人— 7,000(Tajikistan) , 9,566(Afghanistan), 6,000(Xinjang), 9,100(Pakistan, Gojal 4,500-6,000, Ishkoman 2,000, Yasin 200, Yarkhun 900)
- ゴジャール地域 1998 年統計 1967 世帯 男 7442 人, 女 7002 人 (ブルシャスキー村 2, 混住村 3 含)
ワヒー語話者数は男 5,700 人弱, 女 5,300 人弱, 計 11,000 人弱か

2.3. 音のはなし

調査対象地域——Gulmit, Sisuni, Pasu の 3 村～Sost のワヒー集落, , Shimshal, Chapursan

- * 母音 /i, u, e, (ə), o, a/
- * 子音 /p, b, t, d, t̪, d̪, k, g, q, f, v, θ, δ, s, z, š, ž, š̌, ž̌, x, ɣ, ts, dz, č, č̌, j, ǰ, h, m, n, l, r, w, y/
- 単音節語多い minimal pair 「最小対」たて放題
- 豊富な子音連続——語頭の子音連続 CCCCCV-も!
ex. špržavn 「結婚式に花嫁・花婿を着飾らせる」 krbšič 「あられ, ひょう」, kržepč 「カササギ」
- 無文字言語——スタンダードとは? cf. 「小魚騒動」

2.4. 語彙の諸相

2.4.1. 自然環境関連語彙

■地形関連

- * 「谷, 溪」
<狭> tamg (川7リ・ナ) – šoq (川ナ) – δur (川ナ) – dra / žrav (川7リ) <広>
- * 「崖」
pitk : 崖, 大きな岩角, čpaq : 小崖, kor : 石が安定していない険しい崖
- * 「ガレ場・ザレ場」
yoriš / šuy : 石が多い場所, qərum (šuy) : ガレ場
jəromiz / bajri jay : ザレ場, 小石があるが歩きにくくはない
čaš : ザレ場, 砂利で滑りやすい場所
čarž/čaržesn : čašより大きい落石の可能性, 滑落しやすい
xumreg (jay) : 斜面の上方から落石する場所, より危険, 滑落しやすい
qor qor : 崖崩れエリア, 岩が落ちてくるタイプ
jeram/jeramiš : 岩が水流等により移動しやすい場所
šuw wotsn : 石泥混じりの場所 (氷河)
gungri : モレーン
- * 山岳・山間の部分名称
pomar : 高地にある放牧地

məndal / məndaliy̆ : 山/崖上の, 休めるような広めの場所
 hay : 山上の開けた場所
 tangiy̆ : 狭隘な場所
 drband : 先が狭隘で通り抜けられない場所 (家畜停めに使用)
 putrumga 家畜を囲い込む前に一時的に停めて数える場所
 žrevga : 家畜が上も下へも行けないような険しい場所 (žrev<žrevn 「捕まる, はさまる」)
 priyen : 峡谷の人工歩道, 石壁あり
 qila / qilagĭy̆ : 狭くて歩行が困難な場所
 puð kan 岩場, 氷河などに作る, 臨時の足場のための置き石など
 šax : 岩山 kor などにあるこぶ, 越えると家畜が見えるような
 quz / quz jay 日の当たらない場所 tpop 日の当たる場所

* 地名

地名・微地形名・小字名・集落名 (約 2900 語)

ður 「岩の裂けめ」(140), wiyin 「峠」(40), yaz 「氷河」(28), čarjesn 「滑落しやすい場所」, gletziy̆ 「深くぼみ」(8), priyen 「峡谷の人工道」(22) qir 「小丘」(44) tang 「山峡, 狭い道」(17) dašt 「未開墾地」(64) wuč 「上」, dest 「下」

šač merk / kargas wašk (merk<marg 「死ぬ」, wašk 「疲れた」)

uštär žrešk, park žrešk (žrešk 「捕まった」)

dowlatšo platk / šod bige yaš platk / badur xon platk (platk<plnak 「落ちる」) cf. koji platk

■家畜名称関連 (kla 「家畜一般, 小型家畜」)

* ヒツジ may / may kla

幼羊 : wurk (m/f -1yr), kinje (m/f, 1-2yrs)

雄羊 : toxli (2-3yrs, 去勢7/7), 去勢7 : pus (大型), waruk (小型), 去勢7I/7 : war

雌羊 : nižam (2-3yrs~)

* ヤギ tŭy̆

幼ヤギ : čĕy̆ (m/f), sengseng (m/f, 1-2yrs), dudundun (m/f, 2-3yrs)

雄ヤギ : tuli(2-3yrs), čpiš (3-4yrs), mang(m, 5yrs-去勢7/7), buč (去勢7, または大型個体)

雌ヤギ : rŏyd(-2-3yrs~初産まで), tŭy̆(4-5yrs, 初産後), čori(3-4yrs)

* ヤク dzŭy̆, 一部ウシ guw とともに共通)

幼獣 : yova, yiksola(m/f 1-2yrs), sisola(m/f 3-4yrs), panzola (m/f, 5-6yrs), šaðsola(m/f, 6-7yrs)

雄ヤク : škop(去勢7), brus(去勢7)

雌ヤク : rŭy̆um (4yrs-)

* 多彩な家畜識別名称 : 角の形状, 毛色, 模様等々

* その他牧畜関連用語

purðuyavn : 家畜が乳を出さない時に, その子供を見せたり乳を吸わせたりして乳を出させるようにする (<purðuyyn 「家畜が乳を出す気になる」)

čĕy̆iyun : 2歳未満で出産すること

yova : 牛やヤクなど, 夏営地で野草を食べて, 非常に健康的な状態

čĕxni : つぶすための家畜 (数ヶ月~1年前から栄養価の高い餌を与える)

2.4.2. 生業・生活関連語彙

■傾斜地開墾・耕作・灌漑, その他の労働のための多様な語彙

「壁」: ðiz 「壁, 石垣」 / vask 「擁壁」 / sasang 「高擁壁」

yundak 「運ぶ」: xešn 「繰り返し運ぶ」

■建築・家屋関連語彙

* 伝統家屋 xun の構造

「部屋」「窓」がない——冠婚葬祭の全ての行事が執り行える空間 大人数の収容可能

raž「段」: kla raž (右手中央), jiča raž / ziča raž (kla raž奥), nisun(e) raž / pir(e) raž (左手), past raž (手前), yorč「土間」

nikard「カカ座」, dildung, dildung ben (左-女性年長者, 右-男性年長者), buxori「オープン/ストーブ」等々

■食生活

1) 小麦粉加工品・料理

* 小麦粉+液体分(かゆ状)タイプ

baṭ: 小麦粉+水+バター

mul: 小麦粉+水または乳+塩, 固め, 播種祭等用

šalbuṭ: 小麦粉+水+塩+(乾燥)肉, kitšit 時など

halwo šir: 小麦粉+水または乳+バター+塩または砂糖) 祭祀行事用が多い, 糊状の固形

semn: semn-e yumj (発芽小麦を挽いた粉)+水, 播種祭用

* パン状(円形)

・鉄板 sup 調理

šapik (チャパティタイプ), nigan (薄),

fitr (厚, イーストなし), piṭi (厚, 小型), xista (厚), gurma (厚, 大型), šilak (イーストなし)

tsumaki (柔らかめ, kitšit 祭用)

・オープン buxori 調理 (sup タイプより厚め)

ptok, qomočdun

kilča (+卵+バター+乳, 周辺に模様), xmali (大型, 特に結婚式用), xmulut (小型), šeč(+油脂),

xešt (小麦粉+バターを炒めて型に入れ押し固める, ケーキ状)

・パンまたはパン種を油で揚げるタイプ

prunṭa (円形, 大型), wurzuq (円形), čilpek (周囲を織り込んだ形)

širik (+杏ジュース+紅花+バター+乳, 服喪明け用)

・nigan (薄型パン) を加工したもの

molida: nigan 小片+šiy または quruṭ+バターまたは杏オイル

čamurki: nigan の小片+バター+杏オイル

bras šapik: nigan 層+bras (煮詰めたホエイ)

yəlmindi: nigan 層+quruṭ+バターまたは杏オイル, čilpin dok (qurut+バター多)

gral: クレープ層+qanda (桑実シロップ)+杏オイルまたはバター

* その他 moč: 麵(h)oš 入りスープなど

2) 乳製品

žarž: 乳, mērik: 乳脂, クリーム

maska: バター (出来たて), ruṭn: バター (長期保存したもの) **injuy (水路下のバター貯蔵所)

šiy: ホエイ, brus: ホエイを煮詰めたもの quruṭ: brus を饅頭状に乾燥させたもの

jige: quruṭまたは šiy+水を煮詰めたもの

pay: ヨーグルト, moδ: ヨーグルト用種, čika: 水切りしたヨーグルト

tsmik: quruṭ に水を加えて戻したもの, dəyov: quruṭ+水

xəš pay: quruṭ+水 (+小麦粉) +スパイス, quruṭ hov: qurut+杏オイル

kupač : 乾燥リンゴ+バターまたは乳, šrušan : 乳+バター

3) 杏関連語彙(50 弱) 品種名 21 語

qaq : 「乾燥杏」

gali : 種を押し出さずに乾燥 prač : 種を指で押し出す

isqa : 手で二つ割にして種を出した, 丁寧に作ったもの, balutsaski : isqa+種入り

**pating : 杏を乾燥する過程で降水などによりべちゃっとした酸味のある臭いが出る状態になること

**walung : 「(収穫のために杏の) 木を揺する」

2.4.3. 社会・文化関連語彙

■性格等を形容する語彙群

alaq daniyo 「共同作業に参加しない, つきあいが悪い」 bimer, bimjoz

vexnəkuzg 「自分の物をいやいや渡す人」

xmor jon 「見る物をことごとく欲しがる人」

気難しい bimujoz, helkmejoz, nosoz, qarnog, wreng, zur 等々

■伝統的氏族関連語彙

ktor : 祖先を同じくする血統・家系集団, 氏族, 主に冠婚葬祭を執り行う単位

skuyin, rum (同一 ktor の構成員), šogun ptak 農事関連祭祀を始めることができる ktor

* 共同作業・祭祀行事

すす払い kitšit/水路開き woδ šak/播種祭 taym/地鎮祭 bonyoδ křak/収穫祭 činir/+結婚・葬式

収穫時共同作業 keriyar/村落維持のための共同作業 diyordoriŷ

2.4.4. 欠如語彙

基礎語彙からの欠落語彙, 方向・方角, 絶対的時間

社交辞令, 敬語, 待遇表現関連

→厳しい地理・自然環境による諸尾制約条件を背景とした, 半農半牧を基礎とする伝統的生業・経済

→氏族・部族組織に裏打ちされた規律社会, 堅固な互助システム, 素朴かつ緊密・直接的なコミュニティのありよう

2.4.5. 消滅の危機にある語彙

馬, 馬具関連, 家畜関連語彙 (特に識別名称), 暦, 祭祀関連語彙, 伝統医療関連語彙, 伝統的測量単位, 民話・民族誌譚, 民話等に出てくる空想上の生物

→伝統的な地域コミュニティのイスマーイーリー化

自己防衛の方策としてのイスマーイーリー派のスナ化 (伝統的祭祀儀礼の衰退, 踊りの自粛 etc)

イスマーイーリー系農村開発援助・教育程度の底上げ→伝統的生業 (特に牧畜) 従事者の減少・高齢化

KKH 開通による流通・運搬形態の劇的変化→閉鎖的自給自活生活圏の崩壊

換金作物じゃがいもの導入→関連農事暦の変化, 祭祀の廃止

□おわりに

無文字・無規範言語ゆえの語彙の特徴とは?

cf. 「さなぎ騒動」「ヒルガオ騒動」

cf. 方向を表す前置詞・副詞

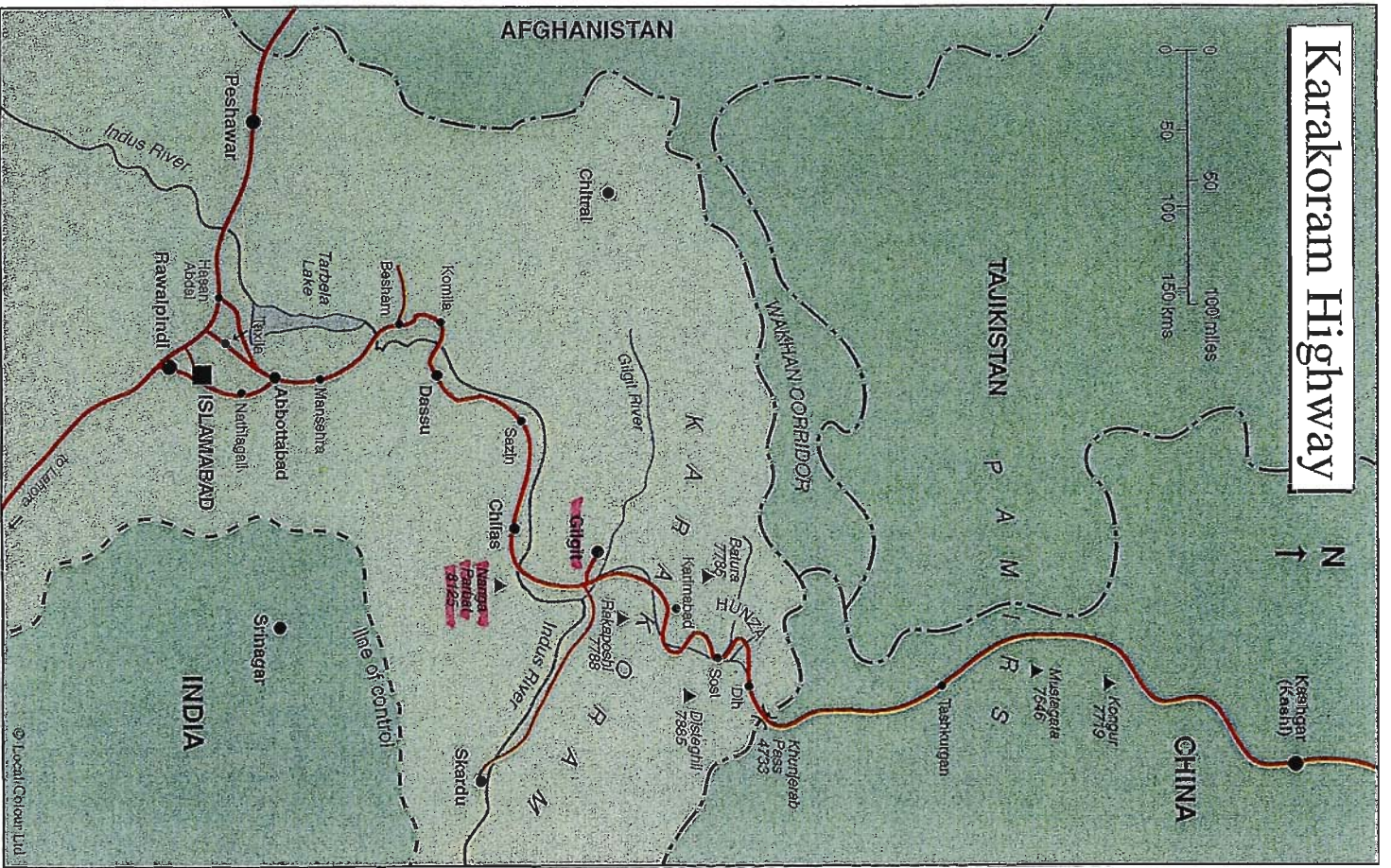
□フンザ～ゴジャール関係年表

500BC	ダレイオス一世によるインダス渓谷征服
333-326BC	アレクサンドロス大王帝国
325-150BC	インド＝ギリーク朝（ヒンドゥークシュ南）
185BC-AD40	スキタイ、クシヤン朝
100BC-AD900	シルクルート流通
4-5 世紀	法顕(339?-420?)らの旅行
7 世紀	玄奘三蔵(600-664)『大唐西域記』
1271-5	マルコ・ポーロによるヴェニス～中国周遊(パミール経由)
19 世紀後半	いわゆる「グレート・ゲーム」の舞台に
1889	Gilgit Agency(ギルギット特区)成立
1891	イギリスによるフンザ・ナゲル従軍 英国の勢力定着
1892	Durand Line 画定
1947	パキスタン分離独立
1957	最初の自動車道開通
1958	KKH 予備工事開始
1960	アーガー・ハーン最初の同地域訪問(Didor) (Oct 23)
1967	KKH 工事正式着工
1972	ナゲル藩主国パキスタンに併合, KKH 開通(制限地域のみ)
1974	フンザ藩主国パキスタンに併合 (by Zulfikar Ali Bhutto)
1979	KKH 工事終了
1980 年代	ジャガイモ導入
1982	KKH 商業運搬車用開通, AKRSP 活動開始
1986	KKH 自由開通(中国—パキスタン国境開放)
1987	アーガー・ハーンによるゴジャール地域訪問(Nov18)
2003	シムシャル・ジープ道開通 2008 携帯電話フンザ・ゴジャール地域サービス開始
2010/1/4～	天然ダム(アターバード湖)発生, KKH 通行止

□参考文献

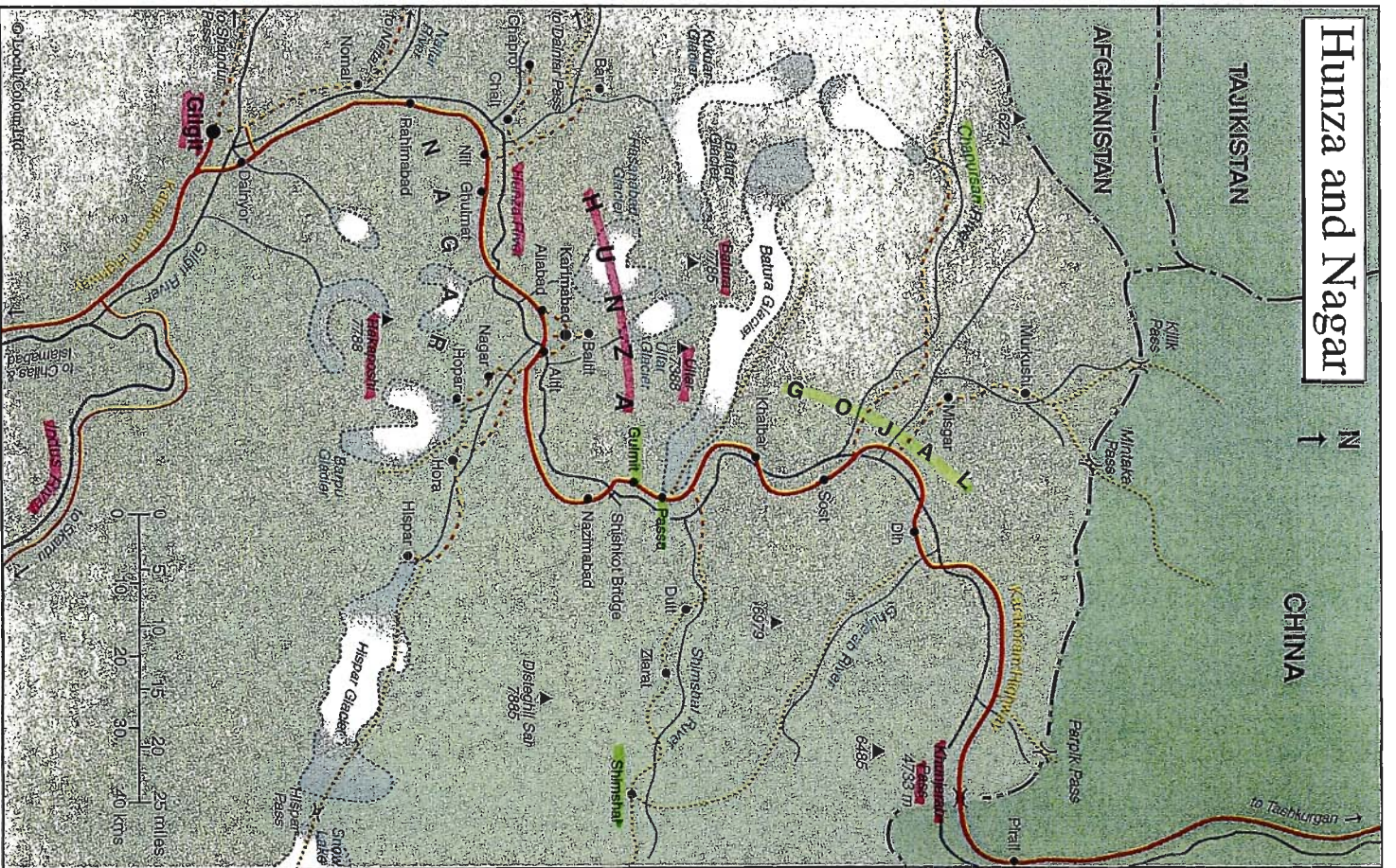
- Sabine Felmy. *The Voice of Nightingale*. Oxford University Press 1996
- Herman Kerutzmman (ed.) *Karakoram in Transition-Culture, Development and Ecology in the Hunza Valley*. Oxford University Press 2006.
- D.N.R.Lorimer, *The Wakhi Language*, SOAS, 1958.
- Georg Morgenstierne, *Indo-Iranian Frontier Languages vol.II, Iranian Pamir Languages*. Universitetsforlaget, 1938.
- Isabel Shaw, *Pakistan Handbook*. Local Colour, 1989.
- Sarina Singh (eds) *Pakistan & the Karakoram Highway*, Lonely Planet, 2008.
- Yoshie, Satoko 2005 "The Sound System of Gojal Wakhi", 『東京外国語大学論集』 71, 東京外国語大学, pp.43-82.
- 2005 "Gojal Wakhi Basic Vocabulary" 『言語情報学研究報告』 No.8., 21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」東京外国語大学, pp.401-77.
- 吉枝聡子 2007 「ワヒー語婚礼歌 Sinisay」『東京外国語大学語学研究所論集』東京外国語大学語学研究所, pp.101-18.
- 2008 「ゴジャール・ワヒー語の動詞体系」『東京外国語大学論集』 76, 東京外国語大学, pp.35-62.

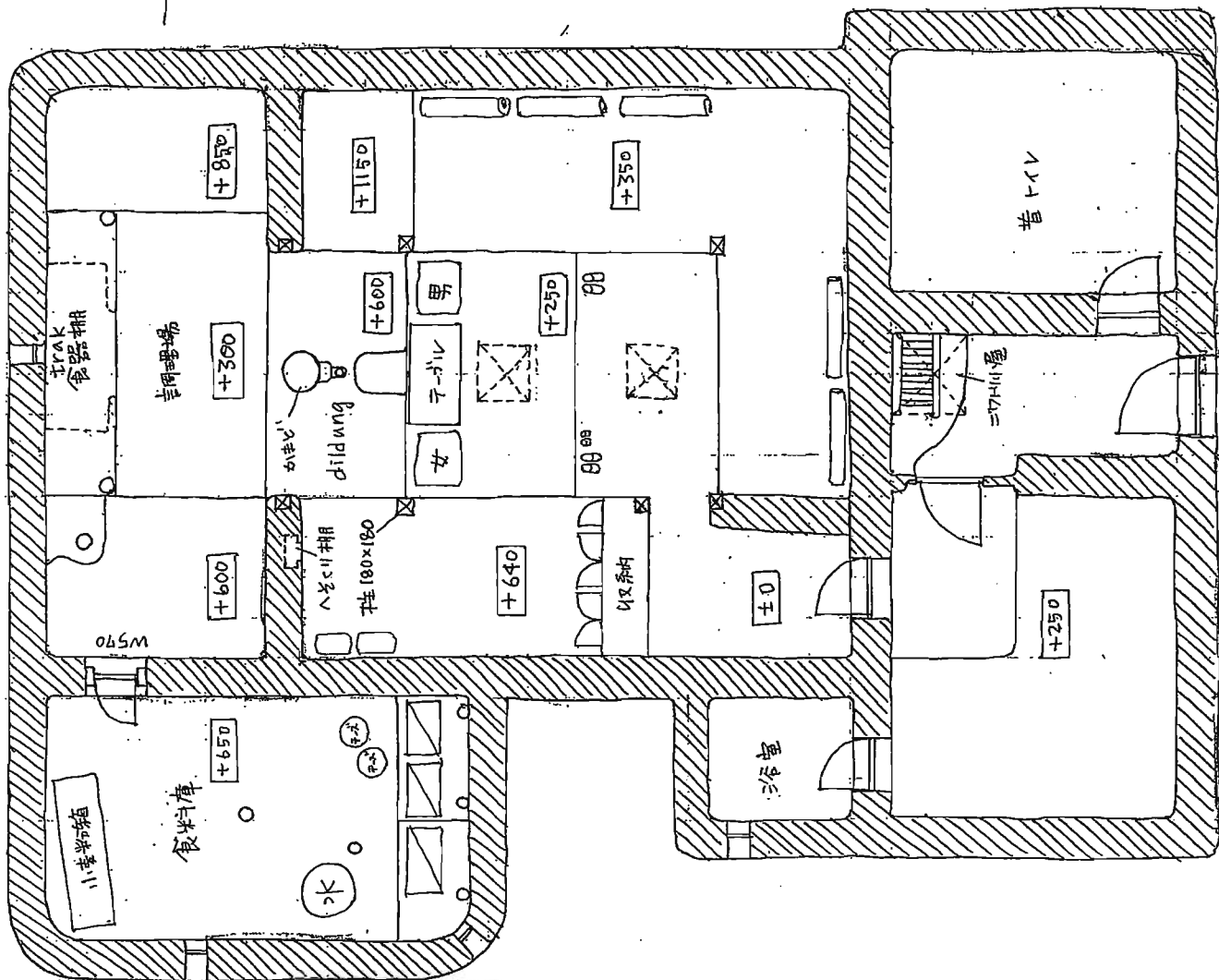
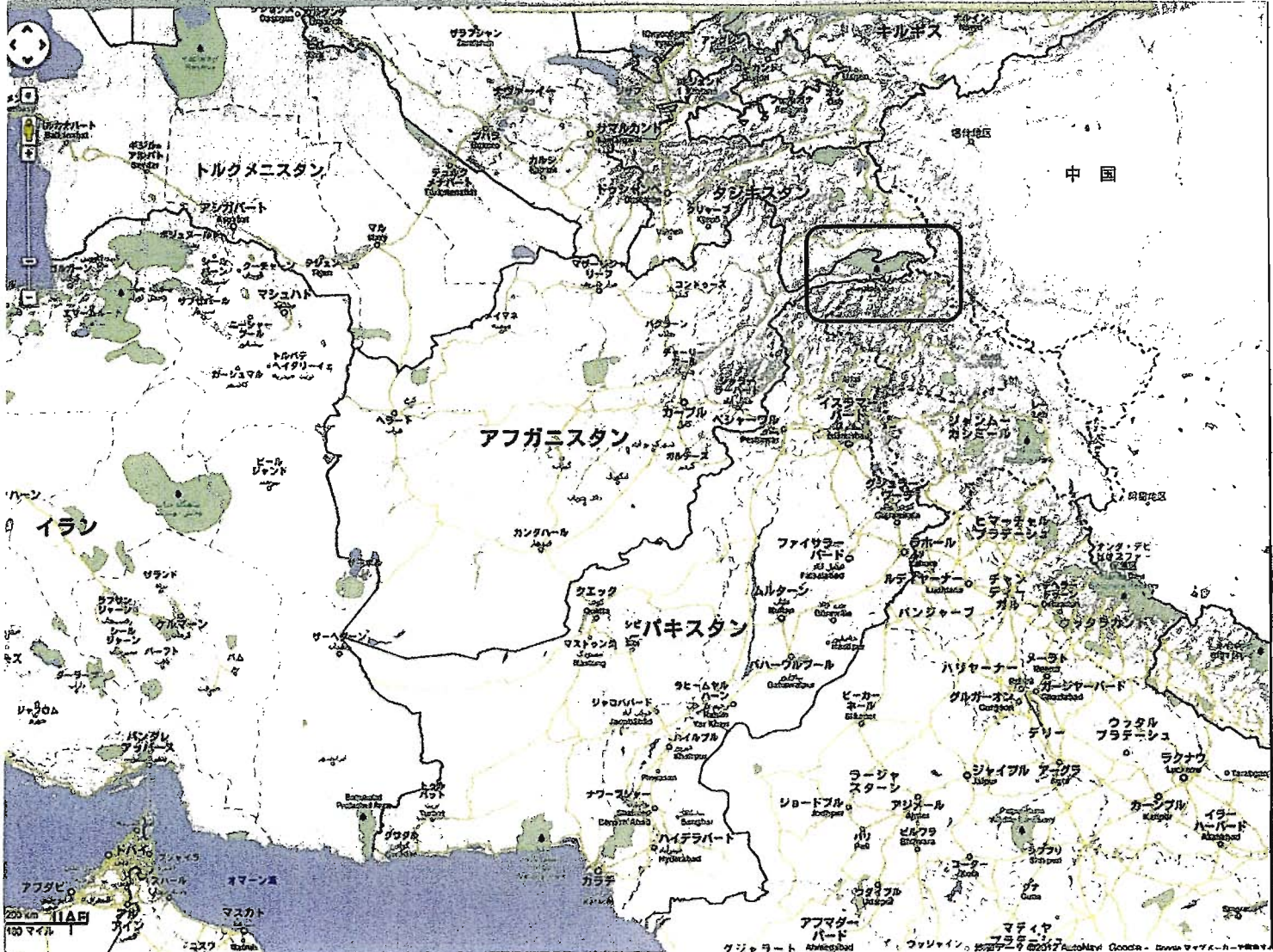
Karakoram Highway



map continued page 561

Hunza and Nagar





1階平面図 1/100

